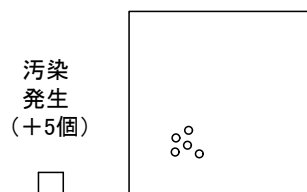
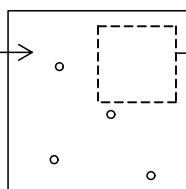
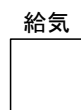
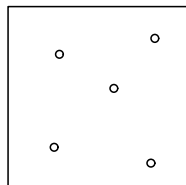


「定常状態」のイメージ



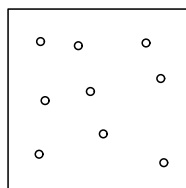
汚染物質は発生と同時に
一様に拡散



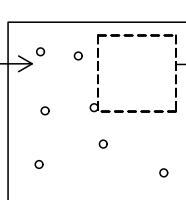
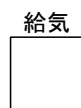
排気(-1個)

最初は、排気の中に汚染物質
が含まれる量が少ない。
新鮮な空気を換気している状態
(換気の効率が悪い)。

汚染
発生
拡散
(+5個)

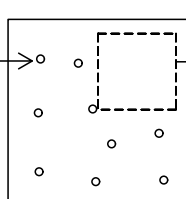
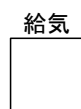
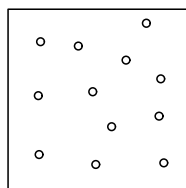


勢いよく汚染濃度が高まる。



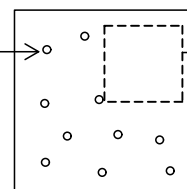
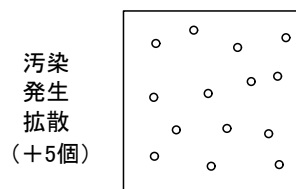
排気(-2個)

汚染
発生
拡散
(+5個)



排気(-3個)

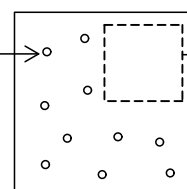
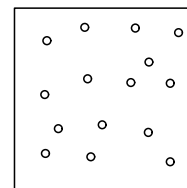
時間の経過とともに、室内の
汚染物質濃度は高くなっていく。
それに伴って、排気される汚染
物質の量も増えていく。



排気(-4個)

排気の中に汚染物質の量が増
えてきているので、当初より
汚染濃度が高まる勢いはない
(換気の効率が良い)。

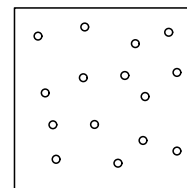
汚染
発生
拡散
(+5個)



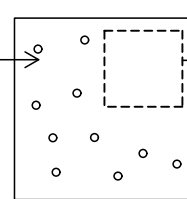
排気(-5個)

ついに、発生する汚染物質
量と排出される汚染物質
量になった。

汚染
発生
拡散
(+5個)



ここからは発生で増える
汚染物質と換気で減る量が
均衡するので、汚染濃度は
これ以上高くない。
これが**定常状態**。



排気(-5個)

⋮